

企業・施設等の皆様へ

現場実習にご理解とご協力をお願いします

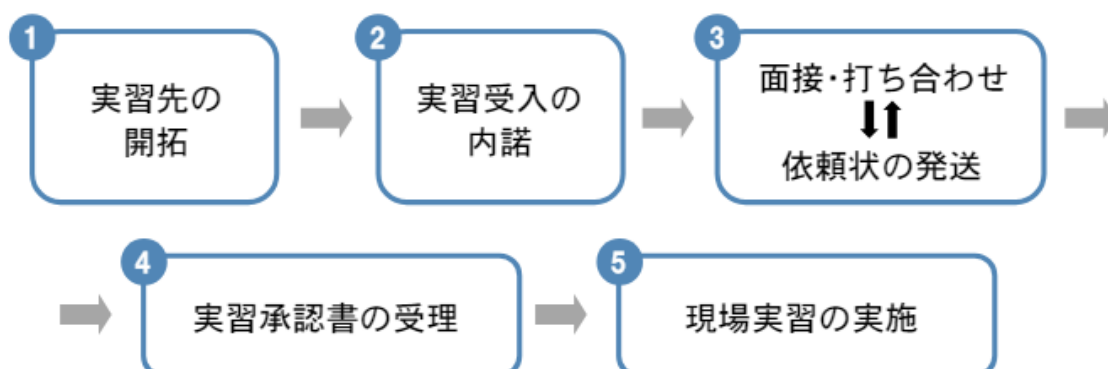
目的

- 1 実際の生産活動の場面において、卒業後の職業生活に必要な基礎知識、技能、態度を養う。
- 2 社会への適応を図るための能力・特性を把握しながら、意欲や向上心の一層の喚起と育成を図る。
- 3 実習結果を基に適性を見だし、進路の見極めを行う。
- 4 実習を通して、地域社会に知的障害者の職業的自立、社会的自立についての理解を深める。

3年間の実習の流れ

	1年 経験・選択の幅を広げる	2年 適性を見極める	3年 進路決定を目指す	進路決定
1学期	○校内実習Ⅰ 6月中旬 2週間	○校内実習Ⅰ 6月中旬 2週間	○現場実習Ⅰ 6月中旬 2週間	
2学期	○校内実習Ⅱ 10月中旬 2週間	○現場実習Ⅱ 10月中旬 2週間 ※企業・A型:10日間 福祉:5日間	○校内実習Ⅱ 10月中旬 2週間	
	○デュアルシステム型 現場実習Ⅰ 11月下～12月上 ※週2日間×2回		○現場実習Ⅱ 10月中旬 2週間 ※企業、その他必要 に応じて	
3学期	○デュアルシステム型 現場実習Ⅱ 1月中～下旬 ※週2日間×1回	○現場実習Ⅲ 1月下旬 2週間 ※企業・その他必要 に応じて	○現場実習Ⅲ 1月下旬 2週間 ※企業・A型、その他 必要に応じて	

実習までの手順



実習概要

- (1) 実習期間 (令和7年度の期日: 6/16~6/27 ・ 10/20~10/31 ・ 1/19~1/30) ※ 2週間を年3回
 - (2) 時 間 8:30~17:00の範囲内で調整します。
 - (3) 対象生徒 高等部2年生・3年生
 - (4) 経費報酬 経費は、生徒・保護者の負担となります。
また、教育活動となりますので、報酬はいただきません。
 - (5) 災害補償 事故発生時には、学校の災害共済給付が適用になります。インターンシップ保険にも加入しています。
 - (6) 巡回指導 学級担任及び進路担当が適宜訪問して、指導に当たります。生徒の様子や課題などをお聞かせください。
- ※現場実習が就労に結びつくのが理想ですが、将来の進路選択に役立てることが大きな目的です。

生徒について

- (1) 仕事を覚えるために、手本を示したりする支援が必要な場合があります。
- (2) 簡単な仕事でも、根気よく続けられる生徒が多いです。
- (3) 具体的にわかりやすい言葉で説明を受け、安全に対する約束を理解すれば、安全に対する約束を守ることができます。

その他

- ★中学部職場体験(9月10日・11日) ※どちらかで1日のみ実施
- ★高等部校内実習の部材提供(令和7年度の期日: 6/16~6/27 ・ 10/20~10/31) 2週間を年2回
※部材提供例: エアコンフィルターの折り・袋詰め、シール貼り、ボールペンの芯の袋詰め、雑巾縫い、バリ取り等
- ★高等部デュアルシステム型現場実習(集団実習) ※高1企業就労対象生徒
【第Ⅰ期】12月2日、4日、9日、11日【第Ⅱ期】1月20日、22日 ※Ⅰ期: 週2日間×2回、Ⅱ期: 週2間を1回実施

中学部職場体験 ・ 高等部校内実習の部材提供

高等部デュアルシステム型現場実習にも

ご理解とご協力をお願いします

問い合わせ先

茨城県立鹿島特別支援学校 キャリア教育部

住所: 茨城県鹿嶋市沼尾1195番地

電話: 0299-82-7700

FAX: 0299-84-1576

Mail: shinro@kashima-sn.ibk.ed.jp 担当: 高橋 拓実

げんきに
なかよく
たくましく

